

九重山

概況

火山活動に大きな変化は認められず、引き続き静かな状態が続いています。

噴煙活動の状況

期間中、噴煙は白色・少量で、噴煙高度の最高は5月5日の 800mでした(図1)。

地震観測の状況

期間中の火山性地震は、5月6日を除くと1日あたり0～9回(4月:0～6回)と少ない状態で経過しました。5月6日に九重山の北西約5kmの筋湯付近で地震が34回(最大M:2.1)ありましたが、火山活動との関連はありません(図2～図5)。有感となる地震や、火山性微動は観測していません。

地殻変動活動の状況

GPS による地殻変動観測では、長者原 - 牧ノ戸峠、長者原 - 坊ガツル、牧ノ戸峠 - 坊ガツルの各観測点間の3つの基線長に変化は見られませんでした(図6)。

現地観測（上空からの観測）

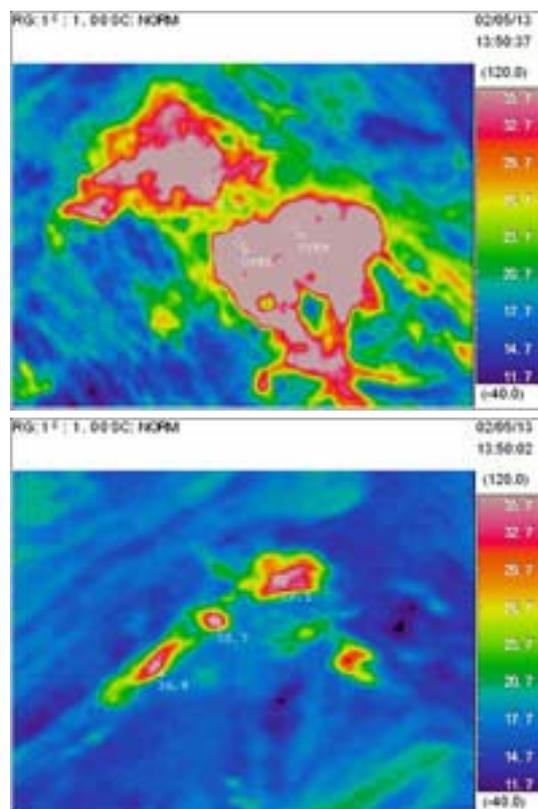
5月13日に陸上自衛隊の協力により上空からの観測を行いました。すべての領域において噴煙量は少量、色は白色で、噴煙高度はA領域約20m、C領域約50m、D領域では約30mでした(写真1)。熱映像カメラによる観測では、C領域は120以上(写真2)、D領域は約40(写真3)でした。上空では弱い硫黄臭を感じ、C領域で火山ガスを含む青白色の噴煙を確認しました。



写真1(上) C領域(中央)とD領域(右奥)

写真2(右上) C領域の熱映像

写真3(右) D領域の熱映像



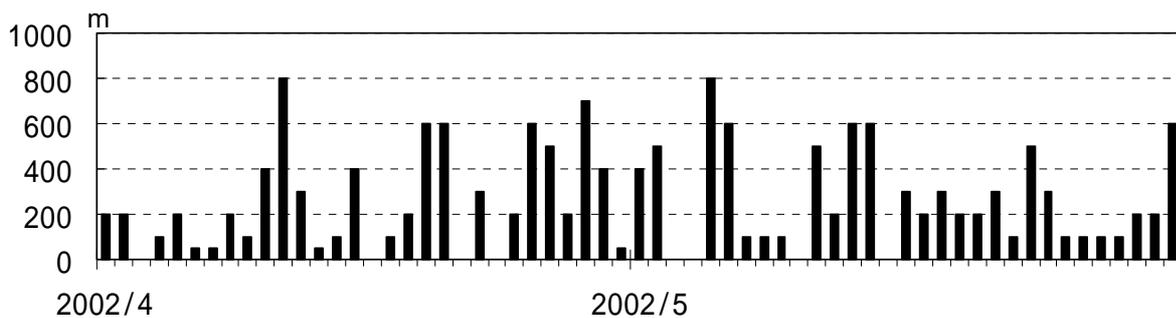


図1 日最高噴煙高度（2002年4月1日～5月31日）

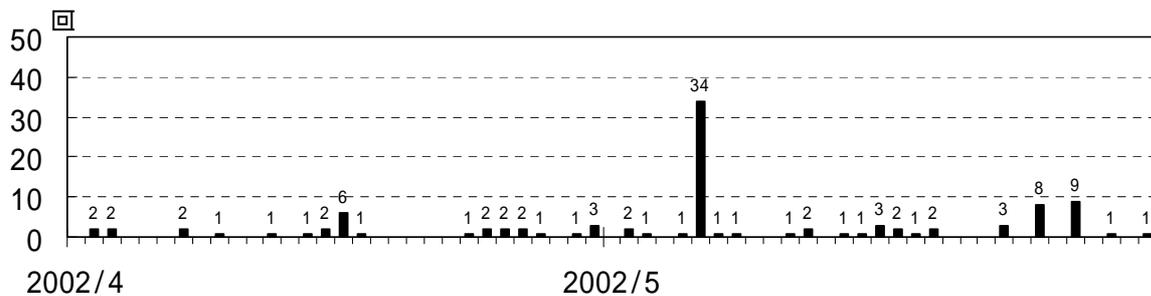


図2 日別地震回数（2002年4月1日～5月31日）

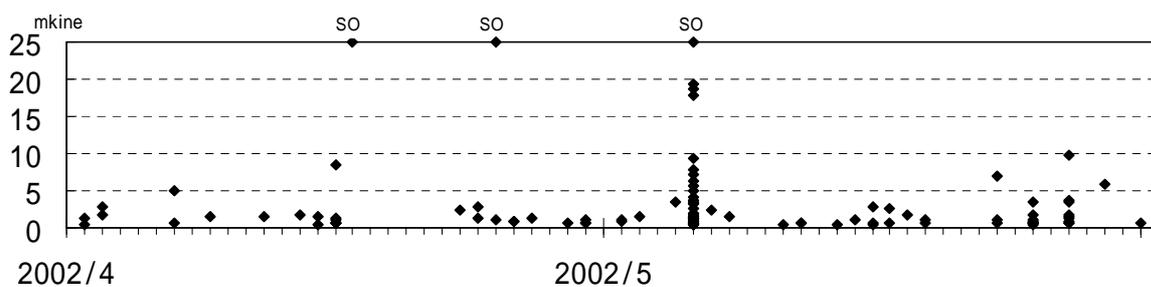


図3 火山性地震の振幅の時系列変化図（2002年4月1日～5月31日）

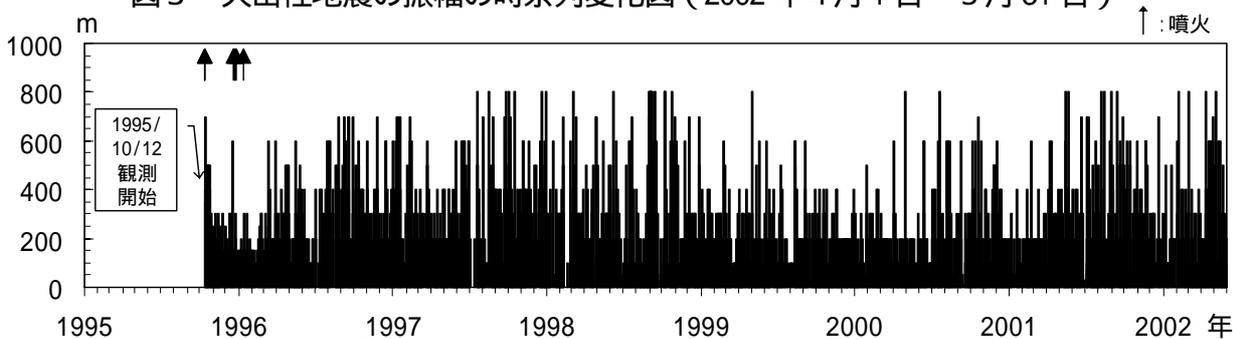


図4 日最高噴煙高度(1995年10月12日～2002年5月31日)

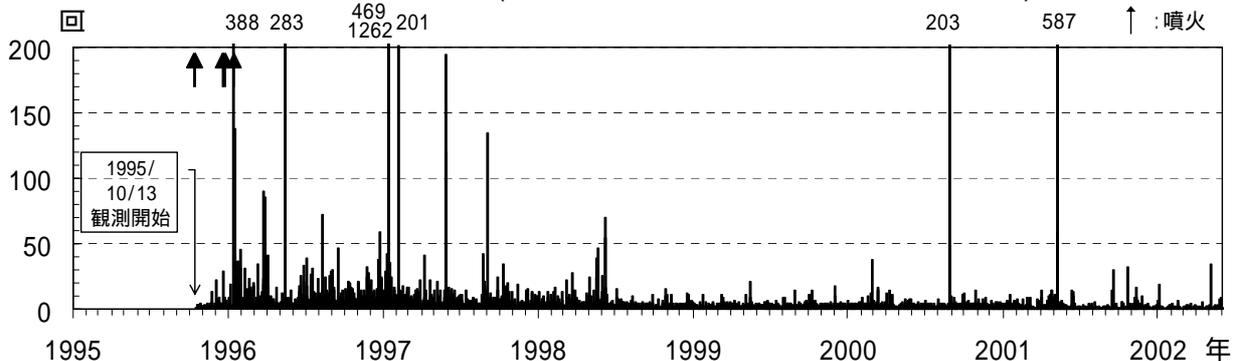


図5 日別地震回数(1995年10月13日～2002年5月31日)

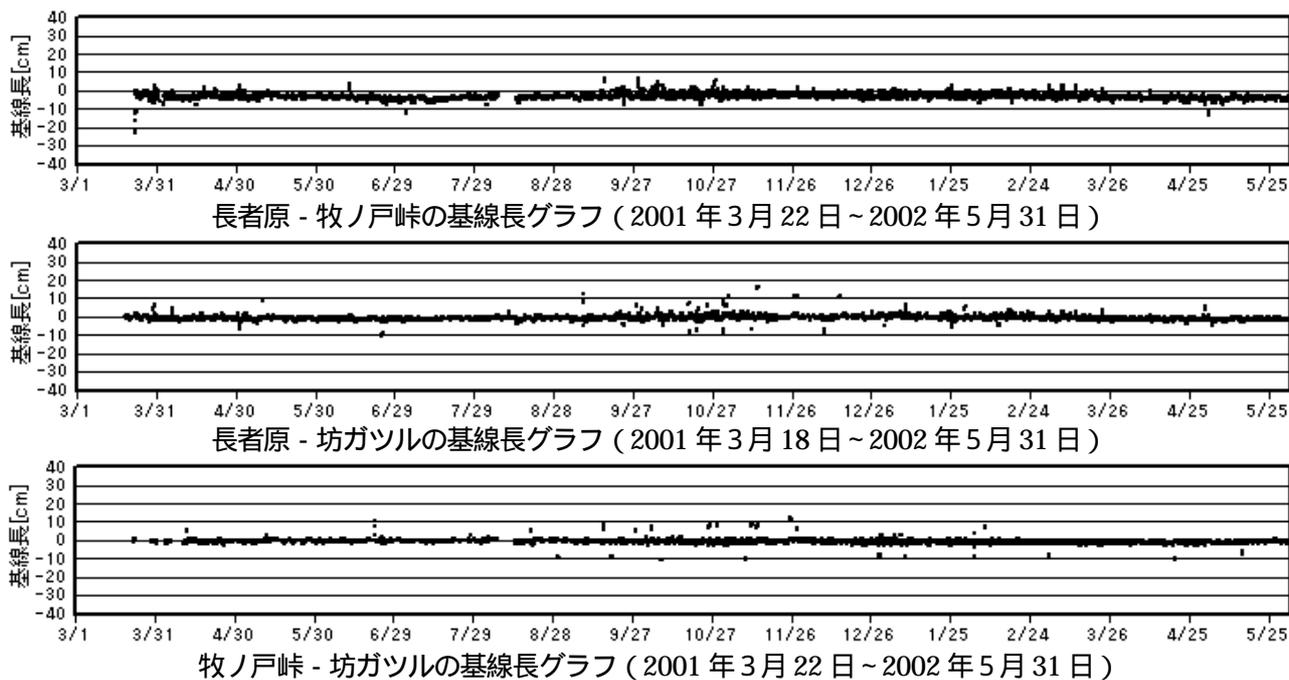


図6 GPS による基線長グラフ

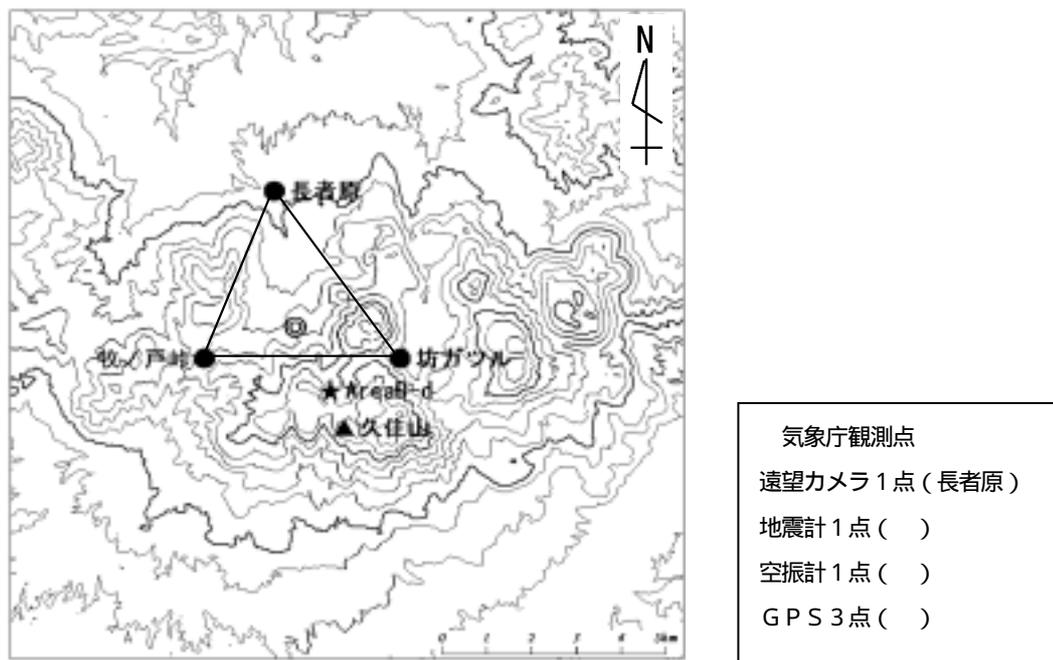


図7 観測点位置図